



さいたま市



たていわ通信

令和5年度第1号(4・5月)
さいたま市立館岩少年自然の家
TEL 0241-78-2311
FAX 0241-78-2313

【基本理念】 自然に触れ 自然に学び 自然で鍛える

URL <https://tateiwa-sizen.saitama-city.ed.jp>

「二度目の春を迎えて」

所長 新堀 栄

所長として2度目の春を迎えました。今年は例年になく雪解けが早く、現在は、長い冬のトンネルから目覚めた館岩の自然が脈動に溢れ、1年で一番美しい時季を迎えています。

昨年度は、館岩少年自然の家の中規模修繕工事にあたり、2つのスキー場並びに7つの宿泊施設を使用した自然の教室実施へのご協力、まずもって感謝を申し上げます。かつて経験したことのない自然の教室となりましたが、校長先生方をはじめ多くの方々のご協力の下、大過なく終わることができました。今年度は、工事の後半に入りますが、もうしばらくご迷惑をおかけします。現在の工事状況から判断しますと、旧館の設備や外観ともに、新館に劣らぬものと受け止めております。ぜひ、来年の完成にご期待ください。

4月の人事異動で所員5名が新天地に異動し、6名が新しい戦力となりました。昨年度の経験を踏まえ、安定した自然の教室になるよう、全所員で「鉄壁のカバーリング」を合言葉に尽力してまいります。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

新年度がスタートしました

4月、館岩では例年より早く、頬を撫でるような気持ちの良い風が吹き、さいたま市の児童生徒を今か今かと待ち焦がれています。さて、今年度も引き続き館岩少年自然の家は中規模修繕工事のため全館休館ですが、南郷とたかつえでの「自然の教室」実施に向け、所員一同が準備を進めています。また、令和6年度の館岩少年自然の家での「自然の教室」再開に向け、登山道などの環境整備を進めているところです。



川魚焼き窯整備(南郷)



トレッキングコースの安全確認(たかつえ)



登山道の整備(自然の家)

令和5年度「自然の教室」(夏季・前期)実施担当教員現地研修会

「自然の教室」(夏季・前期)実施に向け、今年もさいたま市の先生方がたかつえ・南郷の現地で、研修を受けました。川魚さばきやナイトハイキングなど実技研修も含め、積極的に臨み、他校の先生と情報交換も行いました。また、非認知能力についての研修では、その概念だけでなく、児童生徒がねらいをもって自然体験活動を行うことで、非認知能力の向上に繋がることを意欲的に学んでいました。



概要説明(南郷)



フィールドワーク(南郷)



川魚さばき(たかつえ)

「自然の教室」(夏季・前期)が始まりました

今年度の「自然の教室」(夏季・前期)が5月10日にスタートしました。たかつえでは大砂土東小学校が、南郷では馬宮東小学校が1校目です。

敷地内オリエンテーリングでは、自然を感じながらポイントの看板を目指して取り組み、キャンプファイヤーでは自然の静寂とともに始まり、その後はみんなで大いに盛り上がり、素敵な思い出をつくりました。また、川魚さばきでは「命をいただく」ことを考えながら児童一人ひとりが取り組み、ネイチャーストラップ作りでは丸太を切り、葉や花を飾り自分だけの作品を作りました。

他にも、野外炊飯やグレンデトレッキングなどの様々な活動プログラムに取り組んでいる学校もあります。どの学校の児童も「自然の教室」で五感を使って自然を感じ、自然に親しむとともに、充実した3日間を終え、さいたま市に戻りました。



敷地内オリエンテーリング (たかつえ)



キャンプファイヤー (たかつえ)



ネイチャーストラップ作り (たかつえ)



敷地内オリエンテーリング (南郷)



川魚さばき (南郷)



焼き板 (南郷)

南会津町の紹介 (Vol.① 方言)

令和5年度は南会津町内の施設を利用して自然の教室を実施します。ここ福島県南会津郡南会津町の紹介を今後もしていきます。

今回は、方言についてです。その一部を紹介します。

「さすけね」→「だいじょうぶだ、問題ない」

「よく来やったなあ」→「よく来たねえ」

「こええ」→「疲れた」

「こめら」→「こども」

「なげる」→「捨てる」

「腹くっちー」→「お腹いっぱい」



自然探訪 4・5月

今年は例年になく春の訪れも早く暖かい日々が続いていました。前山登山道ではコブシが白い花を咲かせていました。多目的広場のソメイヨシノはさいたま市の桜の開花の時季と異なり4月下旬に咲きました。館岩の長い冬の終わりと春の訪れを知らせてくれました。



登山道でのコブシ



自然の家のソメイヨシノ



南郷のナノハナ



エゾハルゼミの羽化